

認知症について正しい理解を

長寿サポートセンターや「認知症ガイドブック」を活用し、地域で支えよう



認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることで、認知機能(※)が低下し、さまざまな生活のしづらさが現れる状態を指します。都内では、認知症の人は38万人を超えており、江東区でも平成27年からの10年間で約7千人、認知症の人が増加すると推計されます。

※認知機能とは、物事を記憶する、言葉を使う、計算する、問題を解決するために深く考えるなどの脳の働きを指します。

区では認知症になっても住み慣れたまちで安心して暮らし続けるために、「認知症ガイドブック」(江東区版 認知症ケアパス)を作成します。ガイドブックや長寿サポートセンターを利用し、認知症について正しい理解を深めましょう。

各種サービスや相談窓口の情報をまとめた「認知症ガイドブック」を4月から配布



チェックリストで早期発見を

認知症の症状に早い段階で気づくことで、病気の進行を遅らせたり、本人や家族が今後の生活に備えることができます。ガイドブックに載っている「自分でできる認知症気づきチェックリスト」を使って、自分でセルフチェックをしてみましょう。

チェックリスト(抜粋)

自分でできる認知症の気づきチェックリスト	最もあてはまるところに○をつけてください。			
チェック1 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
チェック2 5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点

認知症の人が利用できるサービスがわかる

ガイドブックでは、認知症の進行にあわせて利用できる各種サービスや制度の概要について、わかりやすく解説しています。症状の進行状況に合わせて具体的にどのサービスを利用したらいいのかわからない、似たようなサービスがたくさんあって区別ができない場合などにぜひご活用ください。

【配布場所】 高齢者支援課(区役所3階10番) および各長寿サポートセンター(長寿サポートセンターの所在地は2面「高齢者あんしん情報キット」の記事を参照)

認知症の人を地域で支える

区では認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である認知症サポーターの養成や、認知症の人や家族、地域の人が集まり、交流できる場である認知症カフェの運営費を助成しています。

詳細はお問い合わせください。

問 高齢者支援課認知症支援担当
☎ (3647) 4398
FAX (3647) 9247



▲認知症サポーター養成講座の様子

認知症についての相談は長寿サポートセンターへ



▲長寿サポートセンターへ相談を

「高齢者お役立ちマップ」も4月から配布

認知症について相談できる医療機関、高齢者見守り協力事業者、認知症カフェなど、地域のお役立ち情報を地図上に表示した「高齢者お役立ちマップ」も、4月から長寿サポートセンターで配布します。

